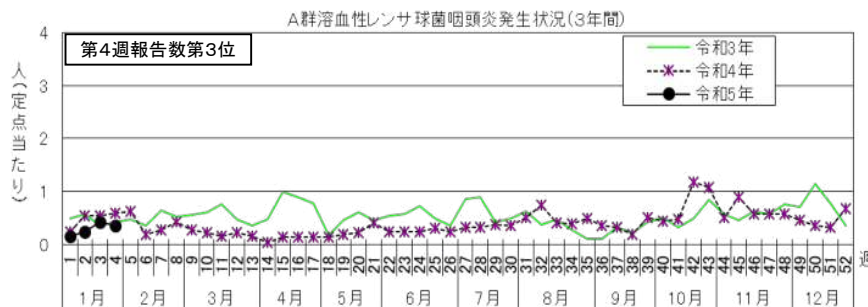
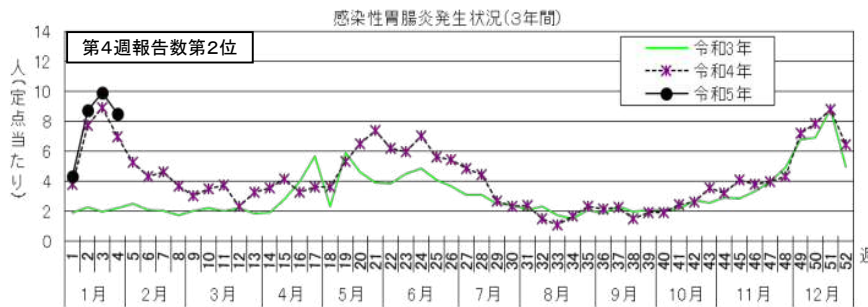
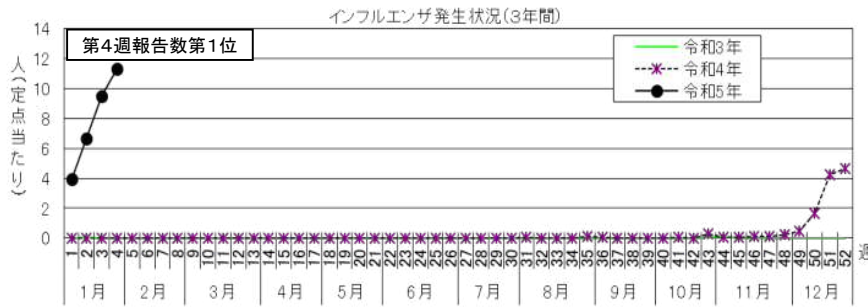


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年1月23日（月）～令和5年1月29日（日）〔令和5年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は11.30人と前週(9.48人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.51人と前週(9.92人)から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.35人と前週(0.43人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



インフルエンザ～流行発生注意報が発令されました！～

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和5年第4週（1月23日～1月29日）に11.30人となり、3シーズンぶりに流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超えました。区別では、川崎区が23.5人と最も多く、次いで高津区が17.8人となっています。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、現在、市内の医療機関からの報告は、A型インフルエンザが多くを占めています。また、今シーズンに病原体サーベイランスの一環として健康安全研究所に搬入された検体のうち、計9検体からインフルエンザウイルスが検出され、全てA香港型でした。

インフルエンザの感染拡大を防ぐためにも、咳エチケットやマスクの着用、手指衛生等の予防対策を心がけましょう。

